学校番号	1206

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	ＬＴ現代文基本（株式会社浜島書店） 国語常識と読解演習パーフェクトノート（尚文出版株式会社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

進学をめざす生徒を対象に開講します。
出席するだけでなく、積極的に語彙を吸収し、本文を理解し、記述力を身につけようとする姿勢のある人を歓迎します。授業では記述問題に取り組んだり、自己採点したり、教師に添削してもらったりすることをベースに、題材となった文章についての周辺知識も学習します。
定期考査があります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・入試に必要な語彙力や漢字の知識を身につけ、設問に対して適切に答える力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・教科書に記載されていない様々な作家やジャンルの文章に触れ、読解力を養うとともに自分で問題を読み、文章で答える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・記述で解答する問題や本文が 2,000 字以上の長い文章に積極的に取り組み、与えられた課題を楽しんで学習する姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文章の種類に基づく効果的な段階構造の把握や論理の形式などを学習することで、文章の構成や展開の方法が理解できる。	・論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式を理解し、設問で問われた内容に対して適切に答えることができる。 ・様々なジャンルの文章の内容や解釈を通して、自分自身のものの見方や考え方を深めることができる。	授業に対して意欲的に取り組み、日々の授業にて学習したプリント等の課題をその時間中に完成させることで、学習内容を理解し、学習習慣を確立しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	精神医学から現代人の心理を探る ［教材］全能の超人……現代人（小此木啓吾）	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容が理解できる。 c：設問に積極的に取り組み、解答を完成させようとしている。	定期考査 ワーク	ワーク 定期考査	参加状況
	登場人物の行動の理由を探る ［教材］転校生の不安（重松清）	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることが理解できる。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や需要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。 c：提示された文章の中から、設問に対する解答に適した該当箇所としてふさわしい場所を探そうとしている。	定期考査 ワーク	ワーク 定期考査	参加状況
	段落の中心文を見つける、要約する ［教材］人と自然の関係（渡辺隆一）	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにする。 a:文章の種類に基づく効果的な段区の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 a:主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 b[読]：文章の構成他論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価できる。 b[書]：目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み絵からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりする。 c：要約に取り組み、修正がある場合は根気よく修正を重ねようとしている。	定期考査 ワーク	ワーク 定期考査	参加状況
	引用を用いた主張をとらえる ［教材］批評の教室（北村紗衣）	a：引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。 a:推論の仕方について理解を深め、使うことができる。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できる。 b[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料の良さや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 c：筆者の意見と事実、引用文と感想文を見分けようとしている。	定期考査 ワーク	ワーク 定期考査	参加状況
	情景描写から登場人物の心情を推察する ［教材］花の祭り（工藤直子）	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解できる。 a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。	定期考査 ワーク	ワーク 定期考査	参加状況

		b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して,内容を解釈できる。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 c:情景描写と詩的な表現を味わおうとしている。情景と登場人物の心情がリンクしていることを実感しようとしている。			
	複数の資料を関連付ける [教材]人はなぜ集団になると怠けるのか(釘原直樹)	a:比較する資料の条件の共通点・相違点を整理することができる。 b[読]:文章の種類を踏まえて,資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えることができる。 c:示された図や表を正しく読み取ろうとしている。	定期考査 ワーク	ワーク 定期考査	参加状況
	規則・法令文を読み取る [教材]日本サッカー協会競技規則・色は語る(山脇惠子)	a:目的に応じて的確に情報を取り出すことができる。 b[読]:文章の種類を踏まえて,資料との関係を把握し,内容や構成を的確に捉えることができる。 c:設問に積極的に取り組み、解答を完成させようとしている。	定期考査 ワーク	ワーク 定期考査	参加状況

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　６０　）時間

・読むこと　…　（　８０　）時間